

令和6（2024）年8月16日

飯田市議会
議長 熊谷 泰人 様



【陳情者】

飯伊地区社会保障推進協議会
飯田市鼎中平 1905-5（飯伊民医連内）
代表 遠山 計
0265-52-5490

【陳情者】

長野県保険医協会
長野市若里 1-5-26
会長 宮沢 裕夫
026-226-0086

現行の健康保険証の存続に関する意見書の提出を求める陳情書

【陳情趣旨】

政府は現行の健康保険証を廃止しマイナンバーカードに一本化することを決定しました。しかし、相次ぐトラブルと情報漏洩などの不安などにより、6月のマイナ保険証利用率は9.9%といまだに低迷しています。

長野県保険医協会が高齢者施設等へ行った調査によると、約7割の施設でマイナンバーカードを管理できないと回答しています。さらには、暗証番号の設定や管理に不安がある方向けに昨年作られた暗証番号なしのマイナンバーカードなら管理できるかとの設問でも、6割以上の施設で管理できないと回答しています。

また、資格確認書についてはプッシュ型で発行することを政府は説明していますが、あくまでも「当分の間」であり、法令上申請主義のままであることから、寝たきりや認知症、心身に障がいを持つ方々などが、手続きができず無保険状態になり、必要な医療を受ける権利が損なわれる恐れがあります。

そして何よりも、健康保険証の廃止と引き換えに、任意であるマイナンバーカードの取得を事実上強制させるという強引なやり方には絶対に反対です。国民の生命に関わる深刻な事態にも発展しかねないことであり、誰もが安心して医療が受けられる「国民皆保険」の土台を揺るがす重大な問題です。

長野県保険医協会には、「トラブルが続いている中で保険証廃止には反対」「高齢者はマイナンバーカードの申請や更新が大変」「マイナ保険証の情報漏洩が心配」など、現行の健康保険証廃止に反対する県民の声が多く寄せられています。不安が払拭されていないのは明らかであり、政府は「保険証廃止に反対」という民意を大前提にすべきです。

いつでもどこでも安心して医療を受けられるために、そして「誰一人取り残されない」ために、現行の健康保険証の存続を求めます。

【陳情事項】

1. 現行の健康保険証の存続を求める意見書を国及び政府に提出してください。

現行の健康保険証の存続を求める意見書（案）

政府は現行の健康保険証を廃止しマイナンバーカードに一本化することを決定しました。しかし、相次ぐトラブルと情報漏洩などの不安などにより、6月のマイナ保険証利用率は9.9%といまだに低迷しています。

長野県保険医協会が高齢者施設等へ行った調査によると、約7割の施設でマイナンバーカードを管理できないと回答しています。さらには、暗証番号の設定や管理に不安がある方向けに昨年作られた暗証番号なしのマイナンバーカードなら管理できるかとの設問でも、6割以上の施設で管理できないと回答しています。

また、資格確認書についてはプッシュ型で発行することを政府は説明していますが、あくまでも「当分の間」であり、法令上申請主義のままであることから、寝たきりや認知症、心身に障がいを持つ方々などが、手続きができず無保険状態になり、必要な医療を受ける権利が損なわれる恐れがあります。

そして何よりも、健康保険証の廃止と引き換えに、任意であるマイナンバーカードの取得を事実上強制させるという強引なやり方には絶対に反対です。国民の生命に関わる深刻な事態にも発展しかねないことであり、誰もが安心して医療が受けられる「国民皆保険」の土台を揺るがす重大な問題です。

長野県保険医協会には、「トラブルが続いている中で保険証廃止には反対」「高齢者はマイナンバーカードの申請や更新が大変」「マイナ保険証の情報漏洩が心配」など、現行の健康保険証廃止に反対する県民の声が多く寄せられています。不安が払拭されていないのは明らかであり、政府は「保険証廃止に反対」という民意を大前提にすべきです。

いつでもどこでも安心して医療を受けられるために、そして「誰一人取り残されない」ために、現行の健康保険証の存続を求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和6年 月 日

内閣総理大臣 様
厚生労働大臣 様
総務大臣 様
法務大臣 様
デジタル大臣 様
衆議院議長 様
参議院議長 様